

# 学生の主体的な学びを育む金融リテラシー教育

第10回日本FP学会賞という名誉ある賞を賜り身に余る光栄です。受賞対象となった論文は私一人のみの成果ではありません。研究の過程で多くの皆様から貴重なご意見やご助言を頂きました。これまで研究を通して様々な方々との交流があったのが受賞です。一人ひとりお名前を挙げる事は控えますが、これまで研究活動をご支援くださった皆様に感謝申し上げます。

受賞した論文の題名は「学校における金融リテラシー教育—今後の課題と提言について」です。本論文は、日本の学校段階別の金融教育の現状と課題、および金融リテラシー向上に向けた提言により構成されています。具体的には、論文前半で小学校から高等学校までの金融教育についてまとめ、さらに訪問調査した内容を紹介するとともに、その特徴や課題を明らかにしています。論文後半では、学校で金融教育を実施する際に課題となる①時間的な制約および②専門性の問題に対する提言を行っています。

日本FP学会賞については研究交流のある研究者から紹介され、学会のホームページにて応募の詳細を知りました。その後、学会賞への応募を念頭に論文や専門書の講読を通じて最新の研究成果や分析手法を習得、テーマ設定と調査内容の決定をゼミ生と議論し、地域での実態調査を行いました。

基本的な文献調査や分析手法の習得までは、わかりやすさと丁寧さを心がけて学生に教えていきましたが、テーマ選定から現地調査までは、学生自身が主体となって調査を企画し、疑問点があれば自身で繰り返し調べて掘り下げていくようになりました。

現地調査では、現場の課題発見・解決に挑むプロジェクト型学習を通じて、学生の視野や関心が広がり、研究課題に対する意識も深化しました。

また、現地調査は何度も繰り返しができないため、協力者の都合を把握し、自分の要望をしっかりと伝えて意思疎通

## 第10回「学生奨励賞」受賞

### 松浦義昭氏(まつうら・よしあき)

金沢大学 国際基幹教育院 講師、博士(経済学)



著書『変革期の金融資本市場』(松浦克己・吉野直行・米澤康博 編著 第2章 執筆 米澤康博・松浦義昭「わが国のコーポレート・ガバナンスが配当政策に与える効果」日本評論社)、『RESASの教科書』(共著、第5章 執筆 松浦義昭「教育現場における活用の実例」日経BP社)。

受賞歴『金融教育に関する小論文・実践報告コンクール』優秀賞(主催:金融広報中央委員会 後援:金融庁、文部科学省、日本銀行)。

講演歴「大学における金融経済教育」(主催:金融広報中央委員会 場所:日本銀行本店)、「先生のための金融教育セミナー」(主催:金融広報中央委員会 場所:日本教育会館)等。

### 学生奨励賞受賞 ビジネス・ファイナンスゼミナール

指導教員のもとでゼミ生は身近な金融経済の様々な現実から課題を発見し疑問点を調べて、解決策を提言する活動を通して、データ分析手法、文献調査、プレゼンテーション、フィールド調査、課題解決法を学んでいます。

をを図る。訪問前に入念に準備し、調査項目の優先順位を決め、段取りを付けて、余裕を持った計画を立てるといった意識が学生に芽生えました。

さらに、調査結果のまとめの段階では、人前で考えを整理して発表することを通して表現力が身につきました。

また、調査前に立てた仮説と得られた調査内容とを比較考察して仮説を検証し、最終的な結論を導くプロセスの習得にもつながりました。論文を執筆する際に必要な根拠を明確にして論述することや論旨を明確にするといった内容面に加え、論文構成や引用、脚注を付ける際の作法等についても、学生は推敲を重ねるなかで身に付けることができました。

金融経済の様々な現実を「自分にも関係のある出来事」として受け止めて関心を持ち、課題を見つけ、疑問点を調べて、解決策を提言する。日本FP学会賞は、学生が自ら主体的に学び視野を広げるとも良いきっかけになると思っています。今後も学生の学びに寄り添う教育研究を続けてまいります。

## 金融リテラシー・マップ

分野	分類	家計管理	生活設計	金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択				外部の知見の適切な活用
				金融取引の基本としての要素	金融分野共通	保険商品	ローン・クレジット	
小学生	必要なもの(ニーズ)と欲しいもの(ウォンツ)を区別し、計画を立てて買物ができる	働くことを通してお金を得ることおよび将来を考え金銭を計画的に使うことの大切さを理解し、貯蓄する態度を身に付ける	小学生が巻き込まれる金融トラブルの実態について知り、消費生活に関する情報を活用して比較・選択する力を身に付ける	暮らしを通じてお金の様々な働きを理解する	事故や疾病等が生活に大きな影響を与えることを理解し、自らも安全に行動する不測の事態に備える方法として貯蓄以外に保険があることを理解する	子ども同士でお金の貸し借りはしないようにする	金利計算(単利)などを通じて、主な預金商品とその利息の違いについて理解する	困ったときにはすぐに身近な人に相談する態度を身に付ける
中学生	家計の収支・支出について理解を深め、学校活動等を通じて収支管理を実践する	勤労に関する理解を深めるとともに、生活設計の必要性を理解し、自分の価値観に基づいて生活設計を立ててみる	契約の基本を理解し、悪質商法等を見分け、被害に遭わないようにする	お金や金融・経済の基本的な役割を理解する	リスクを予測して行動するとともに、人を負傷させたり、人の物を壊した場合には弁償しなければならないことを理解する 事故や病気のリスクや負担を軽減させる手段のひとつに保険があることを理解する	ローン等の仕組みや留意点について理解する	リスクとリターンの関係について理解する 金利計算(複利)を理解し、継続して貯蓄・運用に取り組む態度を身に付ける	トラブルに遭ったときの相談窓口に、必要に応じて連絡する方法を身に付ける
高校生	自分のために支払われている費用を知り、家計全体を意識しながらよりよい選択・意思決定ができる	職業選択と生活設計を関連付けて考え、生涯の収支内容を理解して生活設計を立てる	契約および契約に伴う責任に関する理解を深めるとともに、自ら情報を収集し消費生活に活用できる技能を身に付ける	お金や金融・経済の機能・役割を把握するとともに、預金、株式、保険など基本的な金融商品の内容を理解する	リスクを予測・制御して行動するとともに、加害事故を起こした場合には責任や補償問題が生じることを理解する 社会保険と民間保険の補完関係を理解する	貸与型の奨学金などローンの仕組みを理解し、返済方法や金利、延滞時の影響について考える 各種カードの機能や使用上の留意点を理解し、適切に行動する態度を身に付ける	基本的な金融商品の特徴とリスク・リターン関係について理解し、自己責任で金融商品を選択する必要があることを理解する リスク管理の方法や定期的な貯蓄・運用し続けることの大切さを理解する	トラブルに対処できる具体的方法を学び、実際に行使できる技能を身に付ける

(出典) 金融経済教育推進会議「金融リテラシー・マップ」 ※小学生・中学生・高校生の内容です。  
※本稿の著作権は日本FP協会に帰属します。